

「日本健康開発雑誌」投稿原稿作成要領

1. 書式等について

原稿は、本財団が定める「投稿原稿書式」の形式で作成する。

- ・原稿は、MICROSOFT社のWORDを使用。
- ・図表は、EXCELやJPEGで作成した場合は、WORDに貼り付ける。
- ・書式は、1ページ40行、上下余白20mm、左右余白18mm。
- ・タイトル・和文抄録は、段組みなし。
- ・本文は、2段組み、間隔3字。
- ・英文抄録は、段組みなし。
- ・論文タイトルは、1ページ目最上段より1行空けて記載。
- ・論文タイトル、著者名・所属は、中央揃えとする。

2. フォントについて

本文を書き出す際には必ず、「**MSP明朝**」体¹にフォントを変えてください。

タイトル	MSPゴシック 14ポイント 太字
英文タイトル	Century 10.5ポイント
著者名・所属	MSPゴシック 10.5ポイント 太字 ※著者名にふりがな
連絡先	MSPゴシック 9ポイント
Keywords	MSP明朝 10.5ポイント
見出し	MSPゴシック 10.5ポイント
本文・引用文献	MSP明朝 10.5ポイント ※英文はCentury
図表のタイトル	MSPゴシック 10.5ポイント
英文抄録	Century 10.5ポイント

3. 抄録について

本文が和文の場合、英文抄録は任意とする。

- ・和文抄録は、600字以内とし、5つまでのキーワードをつける。
- ・英文抄録は、250語以内とし、5つまでのキーワードをつける。
英文についてはネイティブチェックを受けること。

4. 本文の構成と見出し、その他注意事項について

- ・構成は、「背景・目的」「方法」「結果」「考察」「結論」「文献」とする。
- ・各見出しは、「**MSPゴシック**」体を用いる。
- ・見出しの階層（章立て）は、第1階層から第5階層までとする。
第1階層は論文タイトルとし、本文見出しは以下の第2階層からの4つの階層から構成する。

- ・「I. 背景・目的」「II. 方法」等の第2階層と第2階層の間は1行空ける。
- ・第3階層以降については、行間は空けない。

【階層について】

第2階層	I. II. III.	太字	左端揃え	例) II. 方法 2. 測定方法 (1)入浴温度 ①入浴頻度
第3階層	1. 2. 3.	標準	左端揃え	
第4階層	(1) (2) (3)	標準	左端揃え	
第5階層	①②③	標準	上位より1字下げる	

【注意事項】

- ・投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを記載すること。
- ・ヒトを対象にした研究では、ヘルシンキ宣言ならびに文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」その他の適切な指針に従うこと。臨床研究であればUMIN-CTRなどへ臨床試験登録を行い、その事実を明記すること。
- ・動物を対象にした研究では、実験が実施された組織における実験動物に係わるガイドラインに則した研究であることが分かるように明記すること。倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は、承認した倫理審査委員会の名称および承認年月日を「方法」本文中に記載すること。
- ・当該研究遂行や論文作成に際して、企業・団体等から研究費助成、試料提供、便宜供与などの経済的支援を受けた場合は、謝辞等に利益相反としてその旨を記載し開示すること。利益相反がない場合もその事実がない旨開示すること。
- ・年の表記は、原則西暦を用いる。元号表記は、行政資料の名称などやむを得ない場合のみとする。
- ・日本語（文献部分を除く）の句読点は、「、」「。」を用いる。

5. 図表について

1. 図は、貼り付けた図の下にタイトルを記載する。 例) 図1. ○○
2. 表は、貼り付けた表の上にタイトルを記載する。 例) 表1. ○○

6. 引用文献の記載について

1. 本文中の引用箇所には片括弧を付して、引用順に 1) 1,3,5) 1-3) のように記入する。
2. 本文の最後に「文献」として、引用した文献の書誌情報を 1) 2) …と一覧表示する。
著者名が3名以上の場合は、4名以降を「他.」または「et al.」と略す。
3. 日本語の場合「,」「.」「;」「:」は全角、「-」「/」は半角とする。英語の場合、「,」「.」「;」「:」「-」「/」はすべて半角とする。ただし英語の場合「,」「.」「;」「:」のあとは半角でスペースを空ける。インターネットのURL記載は半角を用いる。

【引用文献記載例】

文献の種類	必要な書誌情報と記載順序 記載例
<p>雑 誌</p>	<p>著者名. 表題. 雑誌名 発行年 (西暦); 巻: 頁-頁. 例: 1) 財団一郎, 健康花子, 日本次郎, 他. ○○○○○のXXXに関する研究. 日本健康開発雑誌 2017; 38: 13-20. 2) Hayasaka S, Shibata Y, Goto Y, et al. Bathing in a bathtub and health status: A cross-sectional study. Complement Ther Clin Pract 2010; 16(4): 219-221.</p>
<p>書 籍</p>	<p>著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行所所在地: 発行所. 発行年 (西暦); 頁-頁 例: 3) 早坂信哉, 尾島俊之. 割合の差. 中村好一編. 医療系のためのやさしい統計学入門. 東京: 診断と治療社. 2010; 50-57.</p>
<p>インターネットサイト</p>	<p>他に適切な資料が得られない場合のみ文献として使用しても良い。 その場合は、サイト名とアドレスを簡潔かつ明確に記載するとともにアクセスした年月日も付記すること。 例: 4) 厚生労働省. 平成 26 年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について. 2016. http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12412401-Hokenkyoku-Soumuka/0000129999.pdf (2016 年 12 月 9 日アクセス可能)</p>

以 上